

## 【宮城県医師確保計画（中間案）に対する周産期医療協議会・小児医療協議会委員からの御意見への対応】

No.	協議会	項目等（ページ順）			御意見等の内容 ※ページは（中間案）のもの	御意見等に対する県の考え方 及び（最終案）への反映状況	
		最終案 ページ	編	章			項目名
1	周産期 医療 協議会	38	VII	1	産科医師確保計画 (2)医師確保の方針、目標 医師数	周産期母子医療センターで働いている小児科医の確保について、目標は設けているのか。	現状や施策の方向性としては、新生児科について記載しておりますが、目標としても次のとおり記載を追加しました。 ・新生児医療に関わる小児科医について、仙台医療圏に集中している状況ですが、引き続き新生児医療を担う医師の養成や、県外から招へいする事業を推進していきます。
2		39	VII	1	産科医師確保計画 (3)目標医師数を達成するための施策	将来を見据えた場合、医療圏の見直しや地域間の連携が必須となってくると思うが、その点をどのように計画に反映していくのか。	具体的な施策としては現状では残念ながらございませんが、施策の方向性は今後、3年ごとに計画を改訂していく中で反映してまいります。
3		39	VII	1	小児科医師確保計画 (3)目標医師数を達成するための施策	今後、東北医科薬科大学医学部の修学資金制度（A方式・宮城県）を活用している学生が1学年30人ずつ卒業するが、将来的には総合診療内科医に特化せず、医師が不足している産科や小児科に誘導する施策があると良いと思う。例えば、産科・小児科を選択すれば、研修施設が集中している仙台市内の病院も認めるなど。	将来的には産科や小児科など特に不足している診療科に誘導する施策も必要であると認識しております。現状では、東北医科薬科大学医学部の修学資金制度（A方式・宮城県）の義務年限10年間について、特定診療科として指定した診療科は8年間に短縮するという仕組みがあるため、有効に活用していきたいと考えております。

No.	協議会	項目等（ページ順）			御意見等の内容 ※ページは（中間案）のもの	御意見等に対する県の考え方 及び（最終案）への反映状況
		最終案 ページ	編	章		
4	小児 医療 協議会	40	VII	2	小児科医師確保計画 (1)医師偏在指標、相対的 医師少数区域と本県の状 況	県では地域医療を支える自治体病院への医師配置を進めており、開業医に関する直接的な支援は現状難しい状況にあります。東北医科薬科大学宮城卒の卒業医師の勤務開始などにより県の地域医療に従事する医師が増加していくことになる中で、小児科や産科などの診療科についても県が政策的に誘導していくような形も今後検討していかなければならないと考えております。
5		46	VII	2	小児科医師確保計画 (3)目標医師数を達成する ための施策	
6		46	VII	2	小児科医師確保計画 (3)目標医師数を達成する ための施策	
7		46	VII	2	小児科医師確保計画 (3)目標医師数を達成する ための施策	
8		46	VII	2	小児科医師確保計画 (3)目標医師数を達成する ための施策	
					地元の小児科医が少なくなっている地域では、乳幼児健診等で医師が足りず、小児科医会から医師を派遣するケースが非常に増えてきており、課題ととらえている。	
					理想としては、地域に根付いた形で診療をしてくれる小児科医がいることだと思う。現状で対応できる方法としては、例えば、黒川病院や加美病院の小児科医を増やして、そこから派遣する形態が考えられる。	
					仙台市以外では開業医が辞めた後、継承する医師がいない状態である。例えば、日中だけ診療できる施設を作って、そこへ小児科医を派遣するなど計画的なことを行わないと毎日の子どもを診てくれる医師を確保することができなくなっている。	
					県に依頼したいこととして、自治医科大学卒業医師の診療科は内科と整形外科の2つしか認められていないため、小児科になろうとしても9年間はなれない現状をぜひ変えてもらいたい。	自治医科大学卒業医師は9年間の義務年限がありますが、自治体病院等のニーズが高いことから本県においては内科及び整形外科に配置してきたところです。 しかし、小児科医が少ないことは十分に認識しておりますので、今の本県における地域ニーズに応じた形で、修学資金卒業医師も含め多様なニーズに対応できるよう検討してまいります。
					若手医師よりも65歳で定年を迎えた後の医師について、小児科医が不足している地域に、業務負担にある程度配慮した上で働き口を提供してもらえれば希望する医師はいると思う。	従前からの制度であるドクターバンクでは定年まで県職員として採用し、自治体病院等に派遣しております。定年延長については、国レベルで議論が行われておりますので、その動きによって県としても検討まいりたいと考えております。 また、ドクターキューピットでは定年にかかわらず無料職業紹介として医師と医療機関の要望をマッチングしておりますので、御要望があれば勤務していただけるよう県が間に入って取りもってまいります。